



# さくら前線

そして今日も日が落ちて

さくらライフクリニック  
医師 近藤 健治

最近、訪問診療を終えてからクリニックへの帰途に。夕日を超えた「暗さ」を感じるようになってきました。いよいよ夏が終わり、秋が始まります。「でもどこか物悲しいですよね」とつぶやく助手席のスタッフの声が、後ろで必死にカルテ書きをしている僕の手を止めます。

認知症の診断や、経過をみるために、よく「長谷川式検査」という質問紙法を実施します。同じような質問紙法に「MMSE」というのがあり、こちらのほうが若干いろいろなことを複合的に観察できるので医師としてはありがたいのですが、日常診療で簡便にできるのは「長谷川式」に軍配があります。うまく検査できる方は、本当にインタビューをするみたいに終わります。この質問紙のなかで、一番大事な検査項目は、「3つの単語を覚えてもらい、計算などをしてもらったあとに、覚えてもらった単語を言ってもらおう」という部分。この部分ができないことが、「(アルツハイマー型)認知症の特

ただ、全体としてはどこかテストしているみたいな雰囲気になるので、必ずしもすべての方に受け入れられる検査ではありません。「自身が認知症でないということをお考えの方々にとっては特に。

そういった場合は、周囲の方々のご意見や事前にいただいている状況をもとにして、だいたいの程度の症状があるのかを類推して、実際に「本人とお話した印象と擦り合わせ、診断を推定していくこととなります。このときに決して、「認知症の方だから」と何かしらのレッテルを持ってはダメで、「人生の先輩に会いに行く」位の気持ちで接しなければ、継続してお会いいただくことは難しい。そうして顔を合わせていただく中で、診断を少しずつ修正しながら、こういった質問紙検査や画像検査をうけていくように助言をしていくことが、訪問診療の醍醐味だと思っています。外来診察室ではこういった作業は経験できません。

日暮れが早くなること。それは確かに物悲しいものですが、しかし秋には秋の楽しさがあります。すっかり暗くなるころには、イルミネーションが映える格好の季節になります。物事は常に多面性をもつていて、どんな状況も考えようによっては前向きに捉えられることが多いですよ。

それはきっと病気でも同じこと。こういった「もう一方の見方」を提供できるように、全人的な理解ができるように、これからも頑張つて暗くなる車の中でキーボードを打ち続けたいと思うのです。

## さくらライフニュース

第4回日本在宅医療連合学会において優秀演題賞を受賞！

さくらライフクリニック市川、新丸子で勤務されている石川昌弘医師が、神戸市で開かれた第4回日本在宅医療連合学会にて優秀演題賞を受賞しました（「介護度と外脛骨筋の関連性についての検討」。この学会は全国の在宅医療関係者が関係する最大の学会であります。臨床のみでなく、こういった研究発表にも今後、さくらライフクリニック全体で取り組んでいきます！

## ウェブ上での多職種無料セミナーが終了！

さくらライフグループでは、(株)マルホ様、(株)スギメディカル様と共同で8月から8月まで「多職種連携、皮膚疾患セミナー」を実施しました。

おかげさまで好評をいただき、続編も検討中です。コロナ禍でなかなか機会のない知識のアップデートの一助になるよう、企画をいろいろと考えていきたいと思えます。



# 各拠点からの最新ニュース

## 錦糸(担当エリア:東京都墨田区、江東区、江戸川区、葛飾区、台東区、中央区の一部)

お誕生日を盛大に祝う風習のある？錦糸。医師の誕生日となればそれをもう花火を打ち上げるくらい、、、の気持ちを込めてプレゼントを送りました。院長が「ベストドクター」に選出されたこととあわせて、お祝い続きです。

## 市川(担当エリア:千葉県市川市、浦安市、船橋市の一部)

新たに女性の内科医師が入職しました！これで常勤医師は内科2名、精神科1名の計3名。皮膚科、整形外科の非常勤の先生とともに、総合的な医療の提供に努めていきます。

## 津田沼(担当エリア:千葉県船橋市、習志野市、市川市の一部、八千代市、千葉市の一部)

第7波のなか、担当させていただいている施設患者様にコロナを広げないように全力を挙げている津田沼。ときおり院長が差し入れてくれるアイスが救いになっています。

## さがみ(担当エリア:神奈川県相模原市、座間市、大和市、東京都町田市の一部)

4月に再開した精神科外来が大好評をいただいております。現在外来拡張に向けて鋭意検討中。今月からは待望の精神科医師も訪問チームに加わり、さらにパワーアップしていきます。

## 新丸子(担当エリア:神奈川県川崎市、横浜市、東京都目黒区、品川区、大田区、世田谷区)

今月から精神科訪問看護を開始することになりました。医療体制も徐々に充実してきているなか、地域において必要不可欠なクリニックとなるべく、全力をあげていきます。

最新情報はさくらライフ在宅部 Facebook, Instagram で  
毎週更新中！  
QRコードはこちら。ぜひ一度ご覧ください！

Facebook



Instagram



発行:医療法人社団さくらライフ  
住所:東京都墨田区太平 3-4-7  
TEL/FAX:03-3625-5547/03-5819-2258

お問い合わせ・ご相談  
お待ちしております。